

| | | | |
|--------------|-------------------|------------|------|
| 授業科目名 | 精神看護学援助論(2300221) | | |
| 時間割名 | 精神看護学援助論(31204) | | |
| 時間割担当 | 東中須恵子 | | |
| 実施期 | 前期 | 単位数 | 2 必修 |
| 曜日・時限 | 水・1 | | |

授業の目標・概要

様々な精神疾患や精神障がい者を理解し、精神看護学の基礎的知識と看護を学ぶ。

学習の到達目標

1. 精神看護における援助的人間関係の重要性、治療的人間関係を成立させるための方法について学習する。
2. 精神障がい者の観察の方法と治療について（行動制限・服薬管理・治療的環境等）学習する。
3. 精神科医療現場における身体合併症の看護について学習する。
4. 精神症状、問題行動とその援助方法について学習する。
5. 精神科リハビリテーション及び地域におけるサポートシステムの現状・課題について学習する。

授業方法・形式

- ・基本的には講義形式で、パワーポイントを使用します。
- ・DVD教材等を使い、目で見えにくい精神症状について視覚的にも理解できる工夫をします。
- ・授業を通して皆さんが成長できるようしっかりと意見交換をし、一方通行にならない授業を目指します。

授業計画

- | | | |
|------|-------------------------------------|---|
| 第1回 | 患者看護の基本1 | 精神の健康と障がい：正常と異常について考えよう 精神障害の原因・分類 |
| 第2回 | 患者看護の基本2 | 患者 - 看護師関係の理解1：トラベルビーの人間対人間の看護 ペプロウの人間関係の看護論 |
| 第3回 | 患者看護の基本3 | 患者 - 看護師関係の理解2：プロセスレコードの実際（演習を含む） |
| 第4回 | 患者看護の基本4 | 精神科における観察：身体面・精神面の観察の実際 |
| 第5回 | 患者看護の基本5 | 治療的環境 行動制限時の看護 |
| 第6回 | 患者看護の基本6 | 精神科における安全対策と事故防止 リスクマネジメント |
| 第7回 | 精神障害の治療法と看護1 | 薬物療法を受ける患者の看護 |
| 第8回 | 精神障害の治療法と看護2 | 電気ショック療法を受ける患者の看護 精神療法を受ける患者の看護 |
| 第9回 | 精神障害の治療法と看護3 | 精神科リハビリテーションモデル ストレス脆弱性モデル・認知行動療法の考え方 |
| 第10回 | 主な症状に対する看護1 | 不安状態 抑うつ状態 |
| 第11回 | 主な症状に対する看護2 | 幻覚妄想状態 精神運動興奮状態 |
| 第12回 | 主な症状に対する看護3 | 躁状態 自発性減退 |
| 第13回 | 主な症状に対する看護4 | 強迫症状 身体合併症 |
| 第14回 | 精神科リハビリテーション及び地域におけるサポートシステムの現状と課題1 | 国際生活機能分類(ICF)の考え方 多職種連携とは |
| 第15回 | 精神科リハビリテーション及び地域におけるサポートシステムの現状と課題2 | 地域包括ケア支援システム(ACT)の実際 |

成績評価の基準

定期試験60%、小レポート30%、質疑応答10%

授業時間外の課題

- ・テキストに沿って授業をすすめ、補足資料を提供します。学んだところをよく復習しておきましょう。
- ・後半の治療と看護については薬理学や病理学の知識が必要です。1・2年次の復習をして取り組んでください。

メッセージ

精神看護は看護の基本です。看護の考え方（特に受容・共感・傾聴がなぜ看護になるのか）については自分の意見が言えるようにじっくりと考えて取り組みましょう。皆さんが内面も含めて成長されるのを期待します。

教材・教科書

メジカルフレンド社 新体系看護学全書 精神看護学 精神障害を持つ人の看護

参考書